

学校だより 【福の里】

川越市立福原中学校

校長 長田 茂樹

2023. 9. 11 発行

第 5 号

【目指す学校像】生徒全員が輝くことができる福原中学校

《 福 中 生 の 輝 く 笑 顔 は 福 中 の 宝 物 》

【福原小中目指す児童生徒像】小中9年間でキラリ！かがやく福原っ子

【目指す生徒像】

☆思いやりのある生徒

☆自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒

☆やり遂げる力を持った、たくましい生徒

☆自校を愛し、郷土を愛し、その発展に尽くす生徒

2 学期スタート 福中生の「新たな輝き」を

2 学期始業式の朝、地域サポートあいさつ運動で来られた保護者の方、地域の方と一緒に福中生の元気な笑顔が見られてとてもうれしかったです。福中生の輝く笑顔、笑顔あふれるあいさつは本当に最高でした。私は、この夏、全国高等学校野球選手権大会、夏の甲子園を見ていました。開会式の入場行進では各都道府県代表のどの高等学校も堂々としていました。開会式の選手宣誓の中での「追いかけ続ける勇気さえあれば夢は必ず叶う。」という代表選手の言葉がとても印象的でした。福中生にも夢をもち、追いかけ続ける勇気、努力し続け、必ず自分の夢を叶えてもらいたいと思っています。そして、世界陸上 2023 ブダペストの開催中は毎朝陸上競技を見ていました。その理由の1つとして、福中1年生女子生徒が1500mで全国大会・関東大会に出場したことから1500mの競技への関心が高まったことがあげられます。日本女子選手のタイムは4分06秒71、金メダル女子選手のタイムは3分54秒87でした。世界陸上を通して改めて感じたことは、競技当日、自分自身のコンディションを最高の状態にすることの大切さ、高い志と最後まであきらめない強い精神力の大切さ、大きな晴れ舞台で平静を保ち、安定した競技を行うためには努力を続け、その努力を自信にかえること、世界陸上に出場した経験が自分自身の強みになること、世界陸上という大きな晴れ舞台に出場できるのは自分自身の努力に家族をはじめたくさんの人たちに支えがあること、2年後の世界陸上2025は東京開催で福中生や卒業生が出場する可能性があり、日本人選手の活躍が大いに期待できることです。世界陸上から得たことを2学期の教育活動に生かしていきたいと考えます。夏休み中にもかかわらず、保護者の方、地域の方にご協力、ご支援をいただきました。8月19日(土)には資源回収及び福中伝統行事餅つき大会の実行委員会を開き、用具の点検・確認、臼みがきと薪づくりを行いました。福中生のためにありがとうございました。8月23日(水)には福原公民館において第1回地域学校保健委員会を実施しました。この地域学校保健委員会は福原小学校と合同で実施するものです。福中の保護者の方をはじめ福小の保護者の方も多く参加していただきました。学校運営協議会委員の方にも参加していただき、学校と家庭が連携した防災教育について考えました。甲子園で慶應義塾高等学校が優勝したこの日に、講師として迎えた慶應義塾大学の先生から地震発生はどこでも起きること、関東大震災から100年経ち200年周期の関東大震災の後半100年にM7級の地震が頻発する可能性があること、耐震性がある自宅を最高の避難所にする、避難訓練として校種や校舎の構造、学校の規模、児童生徒の実態等によって方法が変わること、防災教育を通して児童生徒に行動力、判断力を育てること、一人一人が「今自分がすべきことは何か、自分より困った状況の人はいないか」を絶えず考え続ける訓練へと変化させること、教職員と児童生徒が協力して命を守り抜く学校をつくることの大切さを学びました。

2 学期が始まってどの学年、どの学級もよいスタートが切れています。2 学期は部活動で新人戦、合唱祭、餅つき大会という大きな行事があります。学級として、学年として、部活として、学校としての団結力を発揮するときです。福中生全員の心が一つになって素晴らしいものを創りあげると信じています。そこには「新たな輝き」が必ずあります。保護者や地域の皆様の信頼に応え、期待される教育活動を推進してまいります。2 学期もご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。